

交通量調査実施報告

～平成19年からの比較～

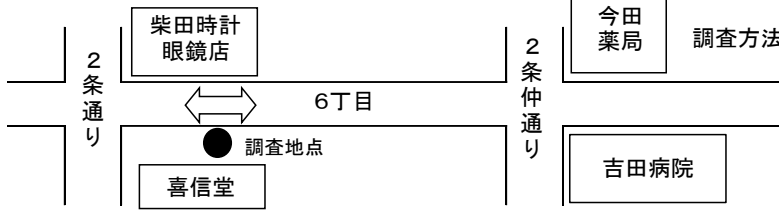
調査日時: 令和4年9月30日(金)

令和4年10月2日(日)

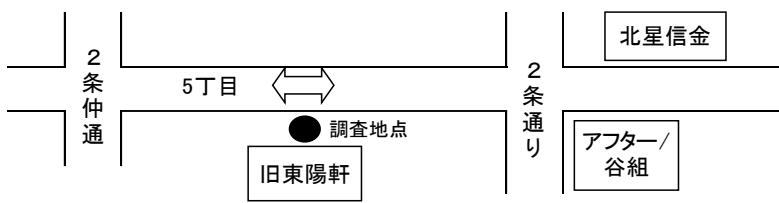
13:00～14:00(1時間)

調査方法: 職員による計測

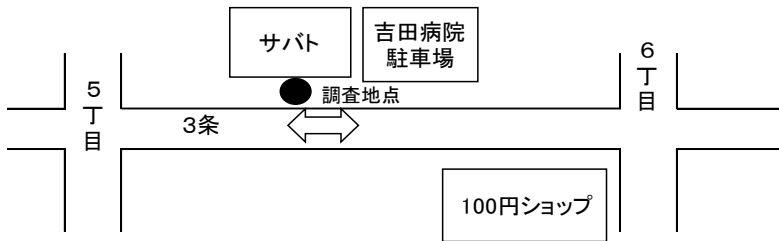
市内中心部(喜信堂前)



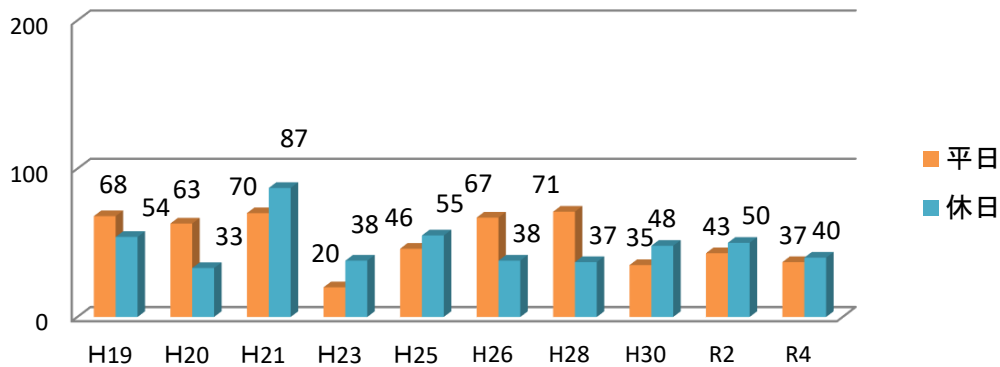
市内中心部(東陽軒前)



市内中心部(サバト前)

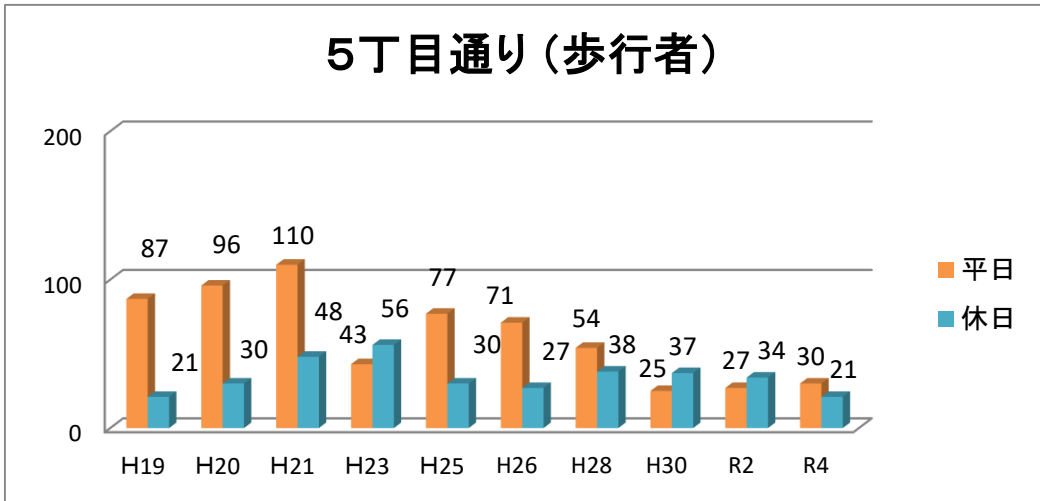


6丁目通り(歩行者)



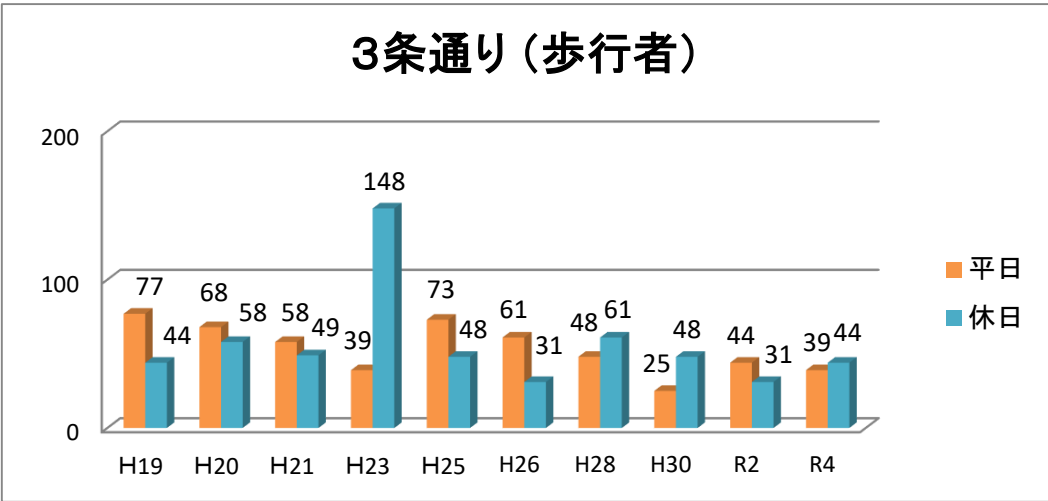
平日の歩行者数については平成21年まで大きな変化はなかったが、平成23年は豪雨の為大幅に減少したと考えられる。それ以降増加傾向にある。要因としては北洋銀行が移転し、通りの利用者が増えたと考えられる。しかし、平成30年から平日の歩行者が減少している。ネットバンキングの普及で金融機関への来店が減少していることも一因と思われる。

5丁目通り（歩行者）



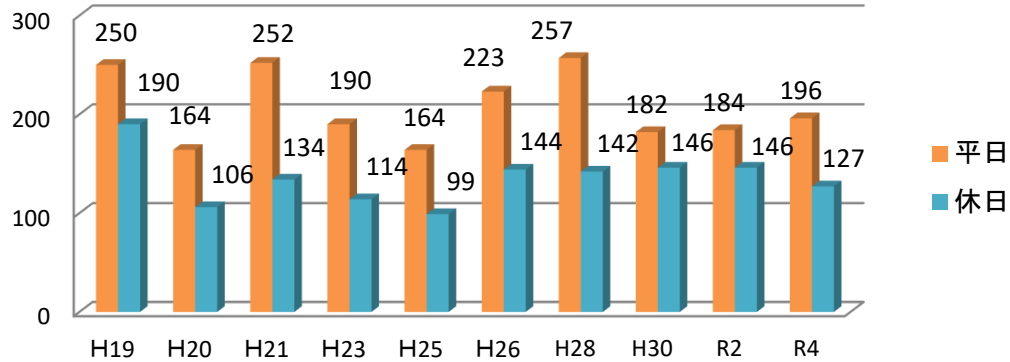
平成28年以前の平日では、調査付近に北星信金があることで歩行者が多いが、休日には金融機関が休みのため、歩行者の数も平日と比較し半分以下に激減している。
平成30年には平日の歩行者が前回調査の半分以下に減っている。ネットバンキングの普及で金融機関への来店が減っていることが一因と考えられる。その後、大きな変化は見られない。

3条通り（歩行者）



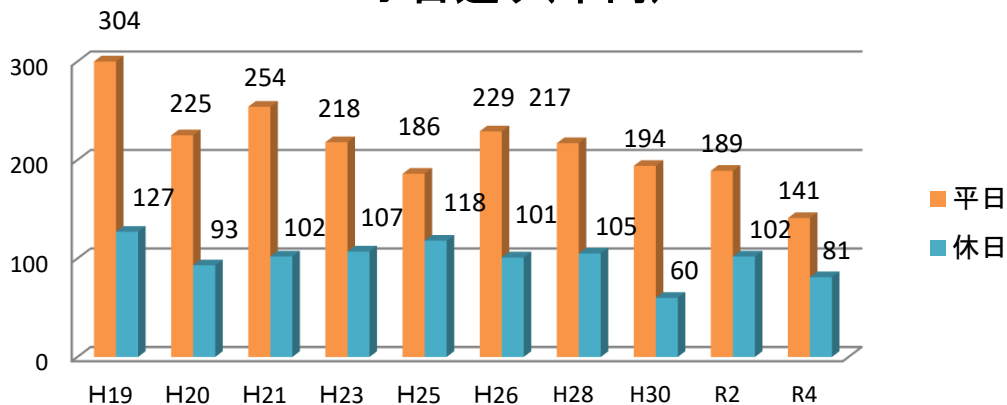
中心部の3条通りは、平成26年まで若干だが平日が上回っている。平成23年休日では、3条どんぐり小路で「もみじ祭り」が開催されたことに伴い、イベントの影響により大幅に増加している。しかし、近年は平日の歩行者が調査開始頃と比較すると減少傾向にある。

6丁目通り(車両)



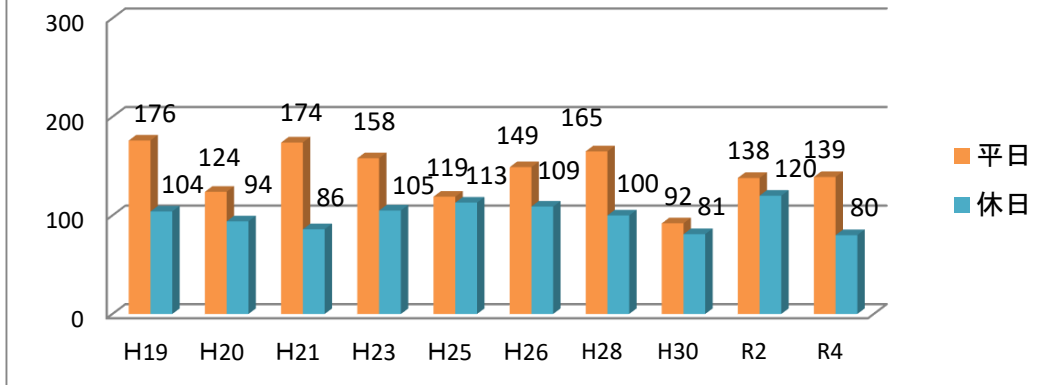
平成30年以降、平日・休日ともに大きな変化は見られない。しかし若干ではあるが、平日の利用者が増加傾向にある。

5丁目通り(車両)



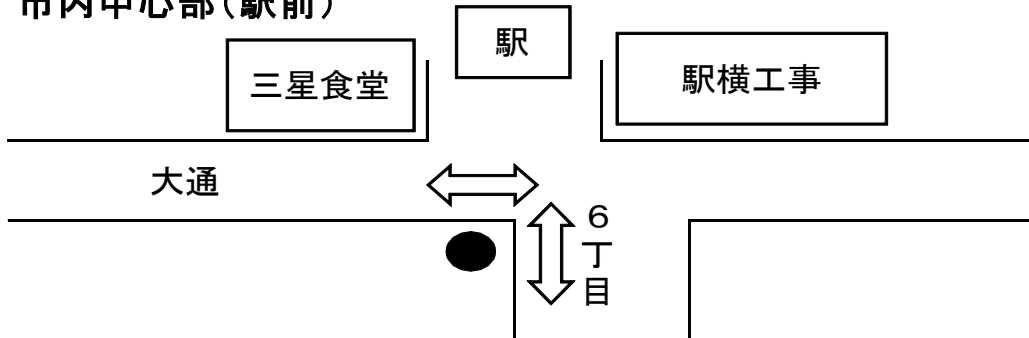
平日に関しては金融機関が調査地点付近にあるため交通量は多いものの、年々減少傾向にある。
平成28年までの休日の数値を見る限りでは大きな変化はなく、平成30年では若干の減少がみられる。令和2年には平均的な交通量に戻っているが、令和4年には平日・休日ともに減少している。

3条通り(車両)



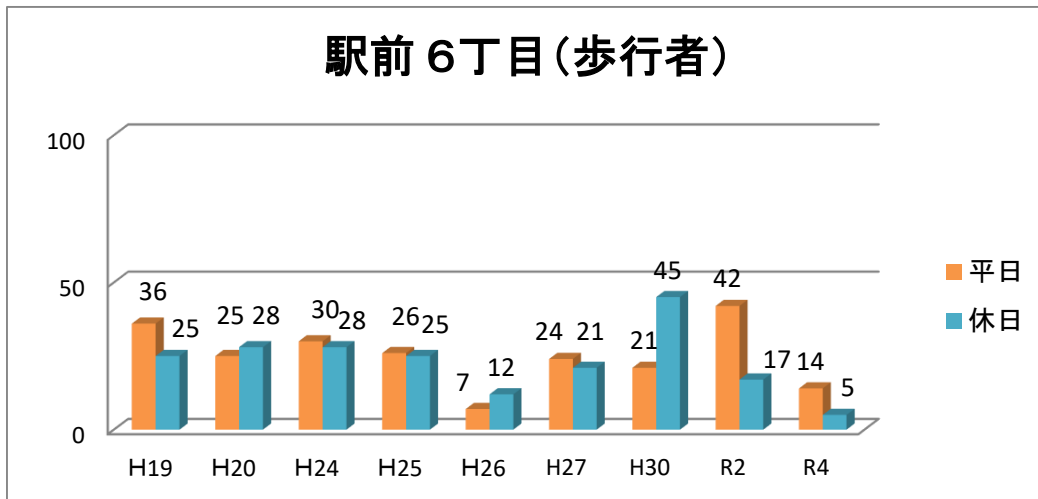
中心部に駐車場も少ないため、年々減少しており、徒歩もしくは自転車で移動している事が考えられるが、令和2年は回復傾向がみられる。新店舗も点在するため、流れが生まれたと考えられる。令和4年の平日の交通量は前回調査と大きな変化はない。

市内中心部(駅前)



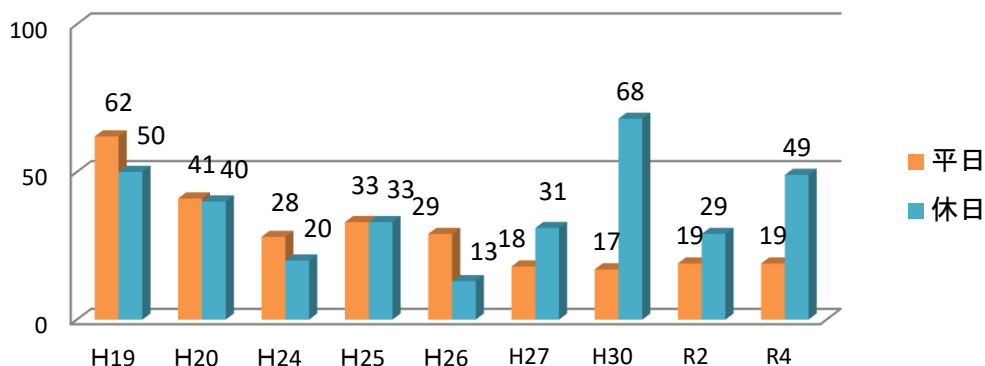
平成25年度駅横に複合交流施設「よろーな」が開設、その中に名寄商工会議所事務所が移転。賑わい創出を目的に造られた施設であり、駅前の交通量について調査。

駅前6丁目(歩行者)



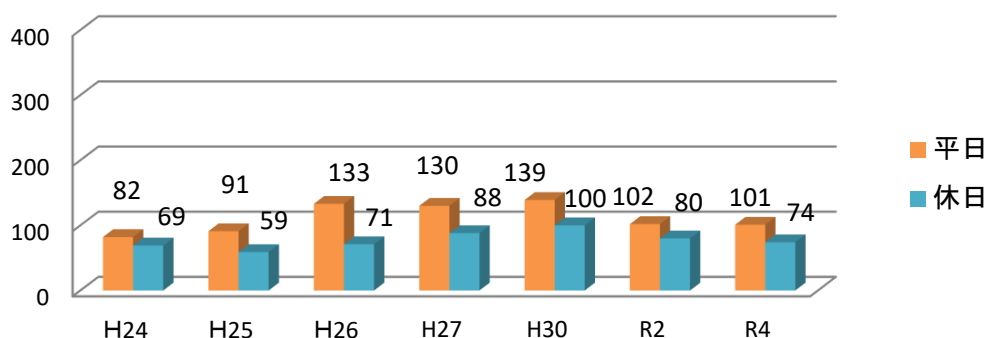
平成19年平日の歩行者数が多少多いものの、平成25年までは、平日及び休日ともに歩行者数は少ないながらも平均した歩行者数となっていたが、平成26年度は極端に減少した。その後回復傾向がみられたが、令和4年でも減少している。同時間帯では同じ6丁目の喜信堂前は平日37人、休日40人となっているので、駅前まで到達している割合は非常に低いことがわかる。

駅前大通(歩行者)



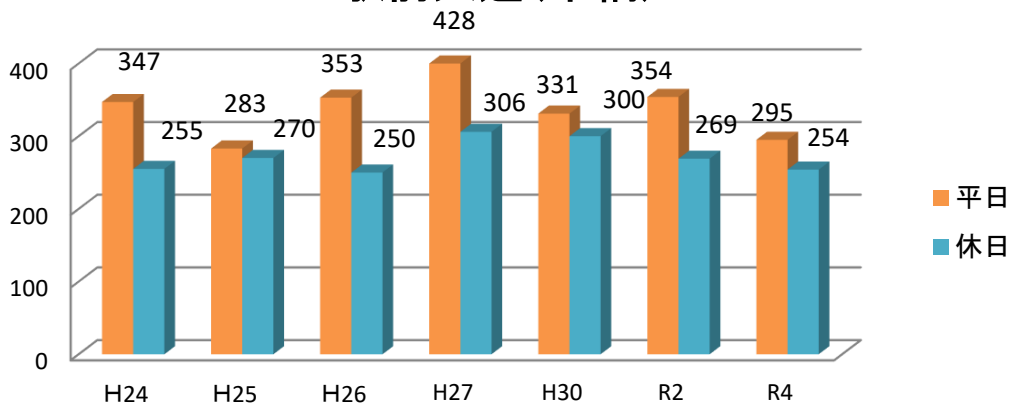
駅前の6丁目側と比較すると歩行者数は多い。平成24年～平成26年は歩行者数は減少していたが平成27年以降は増加傾向となり、平成30年は2倍の増加となっている。令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少しているが、令和4年はこの影響が緩和されつつあり、よろーなでの催し物等の再開に伴い休日の歩行者が増加したと思われる。

駅前6丁目(車輛)



6丁目側の車輛は平日・休日共に少なく、同じ6丁目の喜信堂前と比較すると、平日196台、休日127台と駅前より交通量が多いことから6丁目を通っても、駅前に抜ける車輛は少ないことが比較できる。令和4年は、前回調査と比べ大きな変化はない。

駅前大通(車輛)



平日・休日とも市内中心部より車輛の交通量は2倍以上多くの交通量は年々増加傾向にあったが、令和4年は減少している。国道での調査は行ってはいないが、南北への移動に関しては、大通と国道及び昭和通の並行する3つの大きな道路が利用されている。